

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	ジェンダー学		

(注意) 問題1、問題2、問題3の回答は、それぞれ別の回答用紙に記入してください。

問題1 以下の文章は、世界の映画産業と映画祭におけるジェンダーの問題を扱った文献からの引用です。読んで続く設問に答えなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	ジェンダー学		

(“Pink Material: White Womanhood and the Colonial Imaginary of World Cinema Authorship.” In *The Routledge Companion to Cinema and Gender*, edited by Kristin Hole, Dijana Jelača, E. Kaplan, and Patrice Petro, Routledge, 2017, pp. 215-216.)

- (1) 第2段落に“This investment of cultural capital in cinema’s internationalism is not new[以下略].”とあるが なぜそのように言えるのか、本文の主張をまとめて記述しなさい。
- (2) 第3段落において著者が引用する、世界映画産業の変化に関するダドリー・アンドリュースの主張を簡潔に要約しなさい。
- (3) 第4段落 “this recognition poses a challenge to the usual politics of authorship [以下略].”とあるが、著者はその理由をどのように説明しているか、映画産業が抱える性差の問題を含めて記述しなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	ジェンダー学		

問題2 次の(1)～(5)のトピックのうち2つを選び、それぞれをジェンダーの視点から論じなさい。

- (1) インターセクショナリティと障がい
- (2) バックラッシュとミソジニー
- (3) アニメファンダムと Aro/Ace
- (4) SOGIESC と性の多様性
- (5) 人類学とフェミニズム

問題3 ジェンダーに関する社会調査をおこなう上で必要となる方法論について答えなさい。

- (1) 定量調査と定性調査の違いおよび、それぞれの強みについて説明せよ。
- (2) インタビュー調査において、調査者がインフォーマントに対して持ちうる権力性について述べた上で、インタビューを実施するうえでの注意点について説明せよ。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 ジェンダー学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1（出題意図）

- （1）英語文献の抜粋から、求められる情報を正確、かつ迅速に読取り、それを的確に記することができる能力を試す。
- （2）世界映画産業の変化の流れを考察する上で、著者が引用する先行研究をその議論においてどのように位置付けているのかについて、正しく述べられるかを問う。
- （3）映画産業が抱える性差に関わる課題について、文献から読み取る情報と自らの知識をあわせて正しく述べられるかを問う。

問題 2（出題意図）

- （1）ジェンダー学をめぐる語句の説明を通じて、基礎的な知識の確認と、ジェンダーやセクシュアリティに関する理論史を理解しているかどうかを把握するものである。

問題 3（出題意図）

- （1）学際的領域であるジェンダー学について、さまざまなディシプリンと比較してその特徴を述べさせることで、大学院における研究遂行能力と知識の習得程度を測る。
- （2）調査者がはらむ権力性についての考察を求め、ヒトを扱う研究者にとって適切な研究倫理を持ち得ているかを確認する。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ 外国人 ・社会人
試験科目	地理学		

問題1 以下の文章を読んで、「社会資本」の特徴と、その現代的課題を説明しなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ 外国人 ・社会人
試験科目	地理学		

問題2 以下の用語から5つを選び、それぞれについて説明しなさい。解答用紙には、選択した用語を記入した後に、説明を記述しなさい。

1. 距離減衰効果
2. クリスタラーの中心地理論
3. 結節地域(機能地域)
4. 時間地理学
5. 人口転換論
6. 太平洋ベルト地帯
7. 都市発展モデル
8. ニュータウン
9. フードデザート(food deserts)問題
10. ポーターの産業クラスター論

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ 外国人 ・社会人
試験科目	地理学		

問題3 次の問いに答えなさい。

- (1) Johann Georg KOHL(1808-1878)の交通に関する地理学的な思想や方法を説明しなさい。
- (2)「TOD」(Transit Oriented Development)の趣旨・方法・目標について、「外部不経済」の語を用いて説明しなさい。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 地理学

解答例又は出題意図

問題 1（解答例）

「社会資本」とは社会的生産手段と社会的生活（消費）手段の双方によって構成されるもので、いわゆるインフラストラクチャーのうち生産と消費の経済過程において資本と労働の再生産を可能とするような基礎的諸条件を指す。現代の大規模化・グローバル化した生産活動において社会的生産手段の役割はますます増大する一方で、社会的生活手段の供給は多様化・複雑化する生活（消費）ニーズに対応できず、後手に回ることが多い。

このように資本主義の発展過程においては一般に社会的生産手段への投資が社会的生活手段の充足に優先しておこなわれる傾向があるが、そうした不均衡は結果的に国土の不均衡発展や経済格差をもたらすとともに、資本主義の発展にともない社会資本の供給自体が市場化・企業化されることがともない、公共性の欠如に起因する公害・環境問題などのさまざまな社会問題をもたらすことが指摘される。

問題 2（出題意図）

人文地理学に関する基礎的な知識を問うものである。

問題 3（出題意図）

(1) (2) とともに交通地理学に関する基礎的な知識を問うものである。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	文化人類学		

問題1 以下の文章は、病いに関する人類学的な文献の1節です。「Illness and Disease」の行以下の文章を読んで、続く問題に答えなさい。

(4枚のうち 2枚目)

(4枚のうち 3 枚目)

“The Illness Narratives: Suffering, Healing, and the Human Condition”. Arthur Kleinman, Basic Books, 1988: 3-5

(4枚のうち 4 枚目)

(1) 第2パラグラフで述べられている” illness problems”とはどのようなものであるか、本文の説明をまとめて記述しなさい。

(2) 第3パラグラフで述べられている illness と文化の関係について、本文の説明をまとめて記述しなさい。

(3) 第4パラグラフで述べられている” practitioner”の果たす役割について、著者の説明をまとめて記述しなさい。

問題2 以下(1)から(5)のトピックから2つを選び、文化人類学の観点から、それぞれについてわかりやすい事例を挙げながら論じよ。

(1) 文化相対主義とその功罪

(2) テクノロジーと文化

(3) 開発と医療

(4) 呪術とモダニティ

(5) 宗教と政治

問題3 文化人類学における調査について、次の問いに答えなさい。

(1) 質的調査と量的調査の違いを、それぞれの調査の具体例を挙げながら説明しなさい。

(2) フィールドワークにおける調査者と被調査者の関係がどのようなものであるか、特徴と注意すべき点について説明しなさい。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人

科目名 文化人類学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 【出題意図】

英文の資料を読み解き、その要点を正確に記述する能力を試すことを目的としている。解答者は、逐語的な日本語訳を記述するのではなく、自分自身の言葉で適切に要約し、分かりやすく表現することが求められる。

問題 2 【出題意図】

文化人類学を学ぶ上で必要な基本的な概念やトピックについての理解度と、それらを実社会での出来事と関連付けながら論じる力があるかを確認するためのものである。

問題 3 【出題意図】

文化人類学の研究の基礎をなす質的調査、特にフィールドワークについての知識を問う問題である。人間を対象とする調査を実施する以上、調査倫理についての議論は避けることができないため、それを踏まえた解答が求められる。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（3枚のうち 1枚目）

専攻名【 人文学専攻 】選抜区分【 一般・外国人・社会人 】
試験科目【 日本史学 】

【第一問】以下のテーマについて、答案用紙一枚を用いて論述しなさい。

日本の近現代における教育史研究の現状と課題

I

【第二問】次の史料Ⅰ～Ⅲの中から二題を選択し、それぞれの内容の概要を示し、日本史研究上の意義を述べなさい。その際、一題につき答案用紙一枚を使用すること。なお、出題の趣旨に鑑みて、個々の設問の出典は記載していない。

II

（3枚のうち 2枚目）

専攻名	人文学専攻
試験科目	日本史学
	選抜区分
	一般・外国人・社会人

III

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（ 3枚のうち 3枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 選抜区分【 一般・外国人・社会人 】
試験科目【 日本史学 】

【第三問】 以下に掲げるコピーの古文書を解読しなさい（縦書き、原文通り改行のこと）。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 日本史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【第一問】

近現代史の重要テーマについて研究史の現状と課題をふまえ、自らの研究課題を設定する力を問うのが出題のねらいである。

【第二問】

各時代の研究遂行に必要不可欠である史料読解力を有しているかを確認し、かつⅠ平安時代の学術、Ⅱ近世後期の政治社会、Ⅲ近現代の政治社会についての知見を持ち合わせているかどうかを確認するのが、出題の狙いである。

【第三問】

大学院博士前期課程における研究遂行に必要不可欠な古文書読解力を有しているかを問うのが出題のねらいである。

第二問の出典は以下の通り。ただし、第二問については出典を明記したことが解答のヒントになる場合があるため、問題用紙には出典を書いていない。

【第二問】の出典

- I 黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補 国史大系 類聚三代格 前篇』（吉川弘文館、1977 年）355 頁 16 行目～356 頁 7 行目
- II 『江戸町触集成』（塙書房、2000 年）447 頁上段 6 行目～下段 1 行目
- III 福田英子『妾の半生涯』（岩波書店、1958 年）21 頁 1 行目～27 頁 2 行目

【第三問】

金沢大学上田長生研究室所蔵・鴻池家文書をコピーした。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（6枚のうち 1枚目）

専攻名【人文学】
試験科目【東洋史学】
【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

*試験問題には、問題1、問題2および問題3がある。それぞれの指示に注意しながら、問題1、問題3の全
てに解答すること。問題用紙は全部で6枚ある。

*解答用紙は「横書き」で用いること。また、解答の際には、問題2に解答用紙を替えて解答すること。

問題1

以下の文章の、線で囲ったAとBの部分を、それぞれ現代日本語に訳しなさい。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 2枚目)

専攻名【人文学】
試験科目【東洋史学】

【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

問題2

以下の①～③の3つの史料のうちから自分の研究対象に最も近いと思うものを1つ選び、現代日本語に訳しなさい。なお、選んだ史料の番号を解答の冒頭に明記すること。また、選んだ史料に※印の指示が付されている場合は、それに従って解答すること。

- ① ※史料中の注釈および次頁の参考概略図も参照し、前後の文意の繋がりがや状況が明らかになるよう留意して解答すること。注釈部分は翻訳しなくてよい。

『後漢書』列伝二十八 度尚列伝より

「〔南朝宋〕范曄撰『後漢書』第五冊(中華書局、一九七一年)一二八六頁一行目～一二八七頁七行目。」
なお、出題の都合で省略した箇所がある。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第2期募集 入学試験問題

（6枚のうち 3枚目）

専攻名【人文学】
試験科目【東洋史学】

【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

問題2のつづき

【参考概略図】

〔譚其驥主編『中国歴史地図集』第二冊 秦・西漢・東漢時期（地図出版社、一九八二）四九―五〇・六三―六四頁を参考に作図。〕

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（6枚のうち 4枚目）

専攻名【人文学
試験科目【東洋史学

】選抜区分【一般・外国人・社会人】

問題2のつづき

②『神宗実録』卷四百六十二 萬曆三十七年九月丙戌

〔吉林省社会科学院歴史研究所編『明實録東北史資料輯』第四冊（遼瀋書社、一九九〇年）

二〇五頁二～十三行目〕

なお、出題の都合で改変した箇所がある。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（6枚のうち 5枚目）

専攻名【人文学】
試験科目【東洋史学】
選抜区分【一般・外国人・社会人】

問題2のつづき

③ ※「A」と「B」のどちらも現代日本語に訳すこと。

「A」『徳宗実録』卷三百五十四 光緒二十年十一月辛卯

『大清徳宗景（光緒）皇帝實録』第五冊 （華聯出版社出版、華文書局發行、一九六四年）

三一九六頁上段七～十五行目

「B」の史料は次の頁にあります。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（6枚のうち 6枚目）

専攻名【人文学】
試験科目【東洋史学】

【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

問題2のつづき

〔B〕『徳宗実録』卷三百七十四 光緒二十一年八月丁丑

『大清徳宗景（光緒）皇帝實録』第五冊 （華聯出版社出版、華文書局發行、一九六四年）

三三九八頁上段五～十一行目

問題3

以下の語句のうちから5つを選び、その内容や歴史的意義などについて、現代日本語もしくは現代中国語で説明しなさい。

大唐六典	李成梁	六条詔条（六条問事）	靖康の変
全漢昇	考成法	静嘉堂文庫	遼東志
里耶秦簡	都護府	輪船招商局	外務部
三案	漢書補注	横浜正金銀行	今文学

〈以上〉

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学

選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に寄与する関連知識の確認に加え、
学術論文の読解力と日本語の表現力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、
その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているか
どうかを問うものである。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題1 東京大学がイランで実施したデイラマーンにおける考古学調査について、日本語（600字程度）と英語（300ワード程度）で説明しなさい。

問題2 以下の用語について説明しなさい。

- (1) ビーシャープール
- (2) ナクシェ・ロスタム
- (3) ターゲ・ボスターン
- (4) 万行遺跡（石川県）
- (5) 雨ノ宮古墳群（石川県）
- (6) 秋常山古墳群（石川県）
- (7) 末松廃寺跡（石川県）

問題3 様々な文化財調査における三次元測定の活用について説明しなさい(400字程度)。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 考古学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【作成例】

問題 1 東京大学がイランで実施したデイルマーンにおける考古学調査について、日本語（600 字程度）と英語（300 ワード程度）で説明しなさい。

デイルマーンは現在のイラン・イスラム共和国北部のギーラーン州に位置する盆地である。デイルマーン盆地はイラン北部に連なるアルボルズ山脈内の北側、カスピ海側に位置する。デイルマーン盆地の北にはアムラッシュという町があり、この地には 1950 年代以前から貴金属製品や特異な考古遺物が集められていた。しかし、これらは学術調査で得られたものではなく、盗掘によって収集されたものであった。そして、これらは「アムラッシュ遺宝」と呼ばれて骨董品として売買の対象となっていた。この「アムラッシュ遺宝」は、早くから多くの研究者に注目されていた。特に東京大学は、正倉院蔵のガラス碗の類似品が、この古物群に含まれていることに強い関心を持ち、学術調査を計画した。東京大学は 1960 年と 1964 年の 2 回の調査を実施して、その成果を 4 冊の報告書を発表した。その結果、イラン北部の青銅器時代からサーサーン朝ペルシア時代までの物質文化が明らかにされた。

当初の目的にしていた時代よりも古い時期の青銅器時代の墓地遺跡を調査して、多くの金属器、土器、人骨などを発見したことが大きな成果だった。目的とした正倉院蔵のガラス碗の類似品は見できなかったが、ハッサニ・マハレ 7 号墓から突起装飾ガラス碗が出土した。このガラス碗は初期サーサーン朝のガラス碗と判断され、東西文化交渉を示す遺物として注目された。また、ガレクティ 5 号墓からは、エジプト末期王朝時代のウジャト形護符が出土している。この調査の成果により、イラン北部の考古学研究は大きく前進した。

Deilaman is a basin located in Gilan Province in the northern part of what is now the Islamic Republic of Iran. The Deilaman Basin is located on the northern side of the Alborz Mountains in northern Iran, on the Caspian Seaside. To the north of the Deilaman Basin lies the town of Amlash, which has been home to precious metals and unique archaeological finds since before the 1950s. However, these were not the results of academic surveys; they were collected by grave robbery. These were called the "Amlash Treasures" and were bought and sold as antiques. The "Amlash Treasure" attracted the attention of many researchers from an early stage. The University of Tokyo was particularly interested in the fact that this collection of antiques included similar items to the glass bowls in the Shosoin Repository and planned to conduct academic research. The University of Tokyo conducted two surveys in 1960 and 1964, and published the results in four reports. As a result, the material culture of northern Iran from the

Bronze Age to the Sassanid Persian period was clarified.

A major success was the discovery of numerous metal tools, pottery, and human bones during the investigation of a Bronze Age cemetery, which dates back to an earlier period than the original target period. Although no similar item to the targeted glass bowl from the Shosoin Repository was found, a glass bowl with protruding decoration was excavated from Tomb No. 7 at Hassani Mahale. This glass bowl was determined to be from the early Sassanid period and attracted attention as an artifact showing cultural exchange between the East and the West. In addition, a Udjat amulet from the Late Period of ancient Egypt was excavated from Tomb No. 5 at Ghalekuti. The results of this survey have made a major advance in archaeological research in northern Iran.

問題2 以下の用語について説明しなさい。

(1) ビーシャープール

現在のイラン・イスラム共和国のファールス州の州都シーラーズの西に位置する王宮都市遺跡。サーサーン朝ペルシアの第2代の王、シャープール1世が建設したと考えられる。矩形のプランを有する。アナーヒター寺院の保存状態が良い。付近の川の岸には、シャープール1世の叙任式図、ローマ皇帝ゴルディアヌス3世とヴェレニアヌスを捕虜にしたことを記す戦勝図の浮き彫りなどがある。

(2) ナクシェ・ロスタム

現在のイラン・イスラム共和国のファールス州にあるアケメネス朝ペルシアの王墓遺跡。王宮遺跡のペルセポリスの近くに位置する。ダレイオス1世、ダレイオス2世、クセルクセス1世、アルタクセルクセス1世の十字形を呈する岩窟墓が並んで築かれている。墓前面の壁面に人物や拝火段、楔形文字が刻まれている。

(3) ターゲ・ボスターン

現在のイラン・イスラム共和国のケルマンシャー州に位置する磨崖浮彫遺跡。サーサーン朝ペルシア時代に築かれた。第10代の王のアルダシール2世の王権神授図などの磨崖浮彫が築かれている。浮彫には様々なモチーフが描かれており、サーサーン朝ペルシアの美術の代表と言える遺跡である。パフラヴィー文字銘も刻まれている。

(4) 万行遺跡（石川県）

七尾市にある弥生時代から古墳時代を中心とする遺跡。多くの竪穴建物群が検出されている。特に注目されるのは巨大な掘立柱建物群である。この遺構群は古墳時代前期として他に類例がない存在である。古墳時代の能登地方の政治情勢を知る上で非常に重要な遺跡である。

(5) 雨ノ宮古墳群（石川県）

中能登町にある古墳群。現在は史跡として整備されて、公園となっている。1号墳は全長60m以上の前方後方墳であり、葺石で覆われている。2号墳も60m以上の規模がある。墳形は前方後円形である。1号墳同様に葺石で覆われている。他にも数十基の古墳が存在する。古墳時代前期～中期の能登地方を考える上で重要な古墳群である。

(6) 秋常山古墳群（石川県）

能美市にある2基からなる古墳群。1号墳は全長約140mの前方後円墳で、北陸で最大の大きさ

である。金沢大学考古学研究会によって1984年に発見された。4世紀後半の築造と考えられる。2号墳は全長約30mの方墳である。5世紀半ばの築造と考えられる。

(7) 末松廃寺跡（石川県）

野々市市にある古代の廃寺跡。これまでの調査により法起寺式の伽藍配置であることが判明している。7世紀後半に建てられたと考えられ、北陸で最古級の古代寺院跡ある。多くの瓦が出土しているほか、「和同開珎」銀錢も出土している。最近では「女子像」が線刻された瓦塔片が出土して注目された。

問題3 様々な文化財調査における三次元測定の活用について説明しなさい（400字程度）。

三次元測定が活用できる文化財には、埋蔵文化財、有形文化財、民俗文化財、重要伝統的建造物群保存地区などがある。埋蔵文化財に関しては、遺構・遺物の測定・実測に活用することができる。作業の時間を短縮できることや、正確に記録できるなどの利点もあるが、これまでのように遺構・遺物の観察を十分に行うことを前提とした活用が肝要である。三次元測定には複数の画像を撮影して、それらを三次元的に合成する方法と、レーザー光線などを利用して直接対象物の形状を点群として記録する方法がある。前者は専用のソフトウェアがあれば、それほど高価でないデジタルカメラを利用して実施することができるが、後者の方法は高価な三次元レーザースキャナーを使用する必要があった。最近では、スマートフォンでも後者の方法が可能になっている。現在、三次元測定技術は考古学者が遺物・遺構を記録するのに欠かせない技術となっており、この技術の習熟は重要である。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題1 次の文章は小松謙『「四大奇書」の研究』の一節である。よく読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

(7枚のうち 2枚目)

(小松謙『「四大奇書」の研究』、汲古書院、2010 年、pp326-329)

- (1) 傍線部A「建陽で取り入れられた花関索物語が、江南・北京における刊本に最終的には受け入れられないこと」とはどういうことか、本文を踏まえて説明しなさい。
- (2) 明代後期に『水滸伝』が流行した理由について、筆者の考えを説明しなさい。
- (3) 文章中に見える「四大奇書」以外の小説・戯曲作品から3つを選び、知るところを述べなさい。
- (4) 明朝中期から清朝の初めにかけて生じた白話小説の「作品の変質」とはどのようなものか、本文全体を踏まえて筆者の論点を整理したうえで、あなたの考えを述べなさい。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（7枚のうち 3枚目）

専攻名【人文学専攻】
試験科目【中国語学中国文学】

【選抜区分【一般・外国人】社会人】

問題2 次の曹植「怨歌行」と黄節の注釈を読み、設問（1）～（3）に日本語で答えなさい。

A

（三国魏・曹植「怨歌行」、『黄節詩学選刊 曹子建詩注（外三種）・阮步兵咏懷詩注』、中華書局、二〇〇八年、一二九頁～一三一頁、一部改変）

〔語釈〕

金滕……金属の封印をした箱。中には周公が自分の命と換えても兄の武王の病気の回復を祈願する文があった。

二叔……管叔鮮と蔡叔度のこと。周公の兄弟で、武王の子成王にとっては叔父に当たる。管叔鮮と蔡叔度は周公が成王に叛意があると讒言し、後にはもう一人の兄弟である霍叔処とともに周公を除くための叛乱を起こした。これを「三監の乱」という。

上疏求自試……曹植「求自試表」のこと。太和二年(二二八)、甥に当たる明帝曹叡(在位二二六—二三九)に宛てて書き送った自薦の上表文。

(1) 下線部(A)「爲君既不易，爲臣良獨難。忠信事不顯，乃有見疑患。」をわかりやすい日本語に訳しなさい。

(2) この作品は『芸文類聚』の楽部一・論楽に取られています。この『芸文類聚』について知るところを述べなさい。

(3) 「怨歌行」の内容と創作意図について、「三監の乱」と曹植の立場を踏まえ、説明しなさい。

(7枚のうち 5枚目)

問題3 次の文章を読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

〔語釈〕

上皇……北宋の徽宗を指す

帝……北宋の欽宗を指す

阿計替……金人の監視役の名

(『宋元平話四種』所収『大宋宣和遺事』、世界書局、1977年、p121)

(1) この文章をわかりやすい日本語に訳しなさい。

(2) 『大宋宣和遺事』について知るところを述べなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(7枚のうち 6枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	中国語学中国文学		

問題4 次の文章は朱德熙『语法讲义』からの抜粋である。よく読んで、下の設問に日本語で答えなさい。

(7枚のうち 7枚目)

(《语法讲义》, 朱德熙, 商务印书馆, 1982 年, p.209, l.5-p.210, l.6)

(1) 下線部(A)の例に該当するものを以下の下線部 a~f のうちから全て選びなさい。

1. 开花 a.了。
2. 我吃 b.了 20 个饺子。
3. 太不好意思 c.了。
4. 我早就写完作业 d.了。
5. 我的手机用 e.了八年 f.了, 一点毛病也没有。

(2) 下線部(B)を日本語に訳しなさい。

(3) 下線部(C)はどういうことか。語気助詞“了”を伴う場合と対比させながら説明しなさい。

(4) 語気詞の“了”と動詞接尾辞の“了”について、両者の相違点を文章中の説明に即してまとめなさい。

問題 5 「反切」について知っていることを記述しなさい。その際、下記の語を含めること。

「東」、「德」、「紅」

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 外国人

科目名 中国語学中国文学

解答例又は出題意図

問題1

小松謙氏の『「四大奇書」の研究』より出題。中国文学史に関する基礎的な知識と白話小説の歴史的展開についての理解、日本語の研究文献の読解力、日本語の表現能力を見る設問。

(1) 明代中期に流行した花関索の荒唐無稽な英雄叙事詩が、女性読者などに好まれ、福建建陽の二十卷本系統の『三国志伝』に増入されるが、小説の高級化に伴い、江南の十二卷本系統が主流になっていく過程で花関索は排除されていくという明代小説の改作の大きな潮流をきちんと理解できているかを見る。

(2) 明代後期に『水滸伝』が流行した理由について、陽明学左派の思想の台頭とそれがもたらした知識人の小説創作への積極的な関与などがあったとする筆者の考えを正確に理解できているか、日本語の研究文献の読解力と中国白話小説史の基本的な理解を見る。

(3) 文章中に引用されている、「四大奇書」以外の代表的な通俗文学である『三言』、『二拍』、『平妖伝』、『列国志伝』、『説唐』、『紅樓夢』、『儒林外史』、『西廂記』、『元曲選』について3つの作品を選んで知見を述べさせ、中国文学史の基本的な知識を見る。

(4) 明朝中期から清朝の初めにかけて、それまで非正統文学として蔑まれていた白話小説を知識人も読むようになったことで、具体的にどのような「作品の変質」が生じたのか、著者の論点である長篇化、階層化、小説理論、出版などについて正確に理解し、それをきちんと日本語で表現できる力を見る。

問題2

三国魏の陳王曹植の「怨歌行」とその注釈より出題。中国古典文学に関する基礎的な知識、詩文を総合的に解釈する読解力とそれを説明する日本語表現力を判断する。

(1) 中国古典文学の文章を現代の日本語で訳する基本的な語学能力を見る設問。作品の前提となる情報を認識し明らかにできているかを見る。

(2) 中国古典文学史の基礎的な知識を見る設問。初唐に国家事業として編纂された類書『芸文類聚』はその後の類書の規範であり、また、文学研究にとっても重要な書物である。

(3) 曹植「怨歌行」という中国古典作品を総合的に解釈し、それを表現する力を見る設問。その典拠となる

「三監の乱」と、曹植の創作背景を読み解き、解釈することが求められる。この設問により詩文全体を総合的に解釈する読解力、知識、そして、それを説明する表現力が問われる。

問題3

成立時期、作者ともに不詳の記録文学である『大宋宣和遺事』より出題。中国文学史に関する基礎的な知識、中国語の文章の読解力、日本語の表現能力を見る。

(1) 『大宋宣和遺事』の一節である問題文について、北宋末年の靖康の変や徽宗皇帝の事蹟など歴史的背景を踏まえ、登場人物の関係を正しく把握し、比較的平易な文語で記された説話をわかりやすい日本語に翻訳できるかを見る設問。

(2) 『大宋宣和遺事』の記録文学としての性格や、一部に白話(口語)が用いられ、梁山泊の記述があることから水滸説話や『水滸伝』との関わりが示唆され、中国白話小説の歴史において重要な意味をもつ作品であることを理解し、論述できているかを見る。

問題4

朱徳熙の『语法讲义』より出題。現代中国語学の基本的知識、文章読解力、表現力、論理力、分析能力等を問う。

(1) 当該箇所は同一の形式をもちながら機能の異なる二種類の“了”のうち、特に語気詞“了”の判別基準の一つを、専門用語を含めて統語構造の側面から説明する内容である。この内容に合致する例の選択を通じて、専門知識の有無、記述内容に対する理解度、例文に対する分析力を問う。

(2) 当該箇所は、やや複雑な修飾関係の表現を用いて二種類の“了”が二つとも現れる構造の意味上の特徴が記述されている。当該の内容の論理関係を正確に読解し、専門用語を用いて正確な日本語で表現する力を問う。

(3) 当該箇所では(2)の記述に合致する具体例に即して、構造全体の意味が詳述されている。当該の解説内容について、対照的な例の提示を交えて更に敷衍することを求め、解説内容の論旨に対する的確な読解力、表現力を問う。

(4) 引用部分では文章全体を通じて、二種類の“了”の特徴について、形式と意味の両側面から記述している。その主旨に対する理解度および、過不足なく概括して表現する力を問う。

問題5

中国語音韻論に関する基礎知識、及び、具体例を交えながら分かりやすく説明する力を問う。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

次のⅠ、Ⅱ、Ⅲについて解答しなさい。

Ⅰ. 以下の a、b の英文を日本語に訳しなさい。枠がある場合には、
枠内のみを訳しなさい。

a.

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

b.

Lindfield, Michael, *The Dance of Change: An Eco-Spiritual Approach to Transformation*, London/New York: Arkana, 1986, p.38, l.17 – p.39, l.12.

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち3枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

II. Write a summary in English of the text below of between 100-150 words.

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち4枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

Hartig, Alissa J., (2021). Approaches to research in Applied Linguistics. In Susan Conrad, Alissa J. Hartig & Lynn Santelmann (Eds.) *The Cambridge Introduction to Applied Linguistics*, Cambridge: Cambridge University Press, 2021, p. 21, l. 1 – p. 22, l. 31).

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち5枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

III. Answer the questions below in English.

- (1) Each of the terms below appeared in the passage in II. Choose three of the terms and give an explanation of what each term means within the field of Applied Linguistics.
- (a) data
 - (b) context
 - (c) syntax
 - (d) a corpus
 - (e) aphasia
 - (f) interaction
 - (g) a language sample
 - (h) a linguistic feature
 - (i) language acquisition
- (2) Where would the following studies be on the language-context continuum described in the passage? At the language as object end, the context of language use end or somewhere in the middle? Please give a brief explanation, in English, for your answers.
- (a) A study of how language teachers' speech varies when teaching groups at different proficiency levels.
 - (b) A study into whether pair-work or group-work results in greater oral production of a second language by learners.

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち6枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・ <u>社会人</u>
試験科目	専門科目(専門深化型プログラム・英語学英米文学)		

- (3) Below is a list of popular beliefs about language learning (from Lightbown, Patsy M. & Spada, Nina, *How languages are learned* (Revised edition). Oxford: Oxford University Press, 1999, p. xv.). Choose three of the beliefs and explain in English whether you think each is true or not.

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

(g)

(h)

(i)

(j)

(k)

(l)

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 社会人

科目名 専門科目（英語学英米文学） 記載者氏名 Brown Dale Colin・堀田優子・
渋谷良方

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

出題意図：

大問Ⅰ (a) (b)

本専攻で学ぶ上で必要となる基本的な英文読解力を備え、正確な解釈ができているかを問うことに加え、それを日本語で表現できるかを見る。

大問Ⅱ

本専攻で学ぶ上で必要となる基本的な英語表現力を備えているかを見る。

大問Ⅲ（選択問題：今回は英語学・応用言語学のみ）

問(1) 英語学・応用言語学分野の基本的な概念についての知識と理解度を問う。

問(2) 英語学・応用言語学分野の英語で書かれたテキストの一部を読み、内容を正確に読み取り、テキストから得た知識を、新しいケースに応用する能力を問う。

問(3) 応用言語学・第二言語習得の分野に関する知識を問う。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(5枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

* 答案は全て日本語で作成すること。

問題 1 以下の文章は富山県井波方言で用いられる終助詞相当表現である「ガヤ」と「ガイ(ゲー)」、および他方言の類似表現に関する論考である。これを読み (1) (2) (3) の問いに答えなさい。

(出題者加筆) 井波方言のこれらの形式に類似するものは他方言にもある。ここでは宮崎方言と京都市方言を取り上げる。宮崎方言には活用のある「ツチャ」と活用のない「ト」があり、京都市方言には活用のある「ノヤ(ンヤ)」と活用のない「ネン」がある。そして、それぞれは以下に示すような振る舞いを示す。

(5枚のうち2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

* 答案は全て日本語で作成すること。

(『シリーズ方言学2 方言の文法』, 小林隆(編), 井上優(著), 岩波書店, 2006年, p. 149, ll. 13-30, p.152, ll. 6-18. *問題作成の都合で一部改変・加筆した。)

(1) 本文の説明、および言語データを基にすると、共通語を含む各方言では実情説明と実情理解を表すために、それぞれどのような表現が用いられるだろうか。以下の表の①から⑧を埋める形で答えよ。

	共通語	井波方言	宮崎方言	京都市方言
実情説明	①	②	③	④
実情理解	⑤	⑥	⑦	⑧

※解答用紙にこの表を書き写したうえで、各マスに埋める形で回答すること。

(2) (1) で作成した表に基づくと、「活用のある形式」と「活用のない形式」それぞれの意味機能(実情説明／実情理解)について、どのような一般化ができるか、記述せよ。

(3) この論考は方言のモダリティ表現に関する研究だといえる。モダリティとはどのような文法カテゴリーを指すか、必ず具体例を挙げ、説明せよ(具体例は日本語、あるいは英語から出すこと)。

(5 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

* 答案は全て日本語で作成すること。

問題 2 以下の文章は言語学の入門書に含まれる言語獲得に関する説明の箇所を抜粋したものである。この文章を読み、(1) (2) (3) の問いに答えなさい。

(5 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	言語学		

* 答案は全て日本語で作成すること。

- (1) 下線部ア innate の具体的内容について、本文に即して説明しなさい。
- (2) 下線部イの用語 critical period について、知っていることを述べなさい。
- (3) 本文内下線付きの (1) の 3 と 4、および下線部ウを和訳せよ。

(“Language Files 12: Materials for an Introduction to Language and Linguistics”, Hope C. Dawson and Michael Phelan (Eds.), The Ohio State University Press, 2016 年, pp. 317(l. 31)–318(l. 41) * 問題作成の都合で一部改変した。)

(5 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般	外国人・社会人
試験科目	言語学			

* 答案は全て日本語で作成すること。

問題 3 次の(1)から(9)の項目から 5 つを選んで、説明しなさい。解答の順番は問わないが、どの項目に対する説明であるかがはっきりわかるようにすること。

- (1) 束縛原理 A (binding principle A)
- (2) 真偽値判断課題 (truth value judgement task)
- (3) 分裂文 (cleft sentence)
- (4) 非人称動詞 (impersonal verb)
- (5) 語中音消失 (syncope)
- (6) 機能語 (function word)
- (7) 鼻濁音
- (8) 準体助詞
- (9) 等語線 (isogloss)

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 言語学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1)

	共通語	井波方言	宮崎方言	京都市方言
実情説明	① ノダ(ンダ)	② ガイ(ゲー)	③ ト	④ ネン、 ンヤ(ノヤ)
実情理解	⑤ ノダ(ンダ)	⑥ ガヤ	⑦ ツチャ	⑧ ンヤ(ノヤ)

(2) 活用のある形式は実情理解に用いられる。ただし方言によっては実情説明にも用いられうる。

活用のない形式は実情説明にのみ用いられる。

(3) 言語学、特に実践（フィールド）言語学的研究に必要な用語の知識を問う（意図）。

問題 2

(1) 言語学、特に理論言語学的研究に必要な用語の知識を問う（意図）。

(2) 同上

(3)

下線部 (1) 3. 生物学的に制御された行動の出現は、外的な出来事によって引き起こされるものではない（ただし、周囲の環境は、その行動が十分に発達するために十分「豊か」でなければならない）。

下線部 (1) 4. 直接的な指導や集中的な練習は比較的效果が少ない。

下線部 ウ. 子どもが言語に触れなければならないのは事実だが（そしてこれが環境が「豊か」であるということである）、保育者が子どもに言葉を教えるために特別な努力をしなければならないと

いうわけではない。普通の会話を聞いたり、話しかけられたりする以外には、子どもが言語を獲得するプロセスを開始するのに特別な外的刺激は必要ない。

問題 3

問題 1、問題 2 の範囲にとどまらず広く言語学における基礎的な用語に対する知識を問う（意図）。

2025年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

第2期募集 入学試験問題

（2枚のうち 1枚目）

専攻名【

人文学

】選抜区分【

一般・○外国人・社会人】

試験科目【

比較文化学

】

問題一 次の文章は、木俣元一・佐々木重洋・水野千依編『聖性の物質性…人類学と美術史の交わるところ』からの引用文である。本文を読み、自身の研究内容との関連において、考えるところを論じなさい。

（木俣元一・佐々木重洋・水野千依編『聖性の物質性…人類学と美術史の交わるところ』三元社、二〇二二年、九頁一三行～一三頁一二行より抜粋。なお、引用文中の註記は割愛した。）

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(2 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・○外国人・社会人
試験科目	比較文化学		

問題 2

仏教美術研究において、美術作品と文献との関係を、具体的な例をあげながら説明しなさい。そのとき、イコノロジー的方法との関係も視野に入れて、論じなさい。

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 比較文化学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 美術史研究において昨今注目されている「物質性」（マテリアリティ）の問題を扱った図書を取り上げ、その序文で示されている研究方法についての理解と、自分自身の研究の方向性との関係を論じることで、美術史研究の昨今の研究動向に関する知見を確認するとともに、研究者としての資質や問題意識を評価する。

問題 2 比較文化学の中でも、本研究科が重点をおく仏教美術研究は、作品と文献の両者が重要な役割を果たす。その関係を明確に意識し、自分自身の研究の指向性を有しているかを問う問題である。あわせて、美術史研究の重要な方法であるイコノロジーと、仏教美術研究との対比によって、両者の相違点や補完的なあり方を記述させる。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題1～6について指示に従って回答してください。なお、解答用紙には問題の順番に回答を行い、どの問に対する解答かわかるように記述してください。

【問題1】 次の英文を日本語訳しなさい（引用文献の訳は不要）。

出典：McWilliams, K., Harris, L. S., & Goodman, G. S. (2014). Child maltreatment, trauma-related psychopathology, and eyewitness memory in children and adolescents. *Behavioral Sciences & the Law*, 32(6), 702-717. のうち 702 ページ 8 行目から 703 ページ 4 行目まで出題

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題2】 以下の文章にある空欄に適切と思われる語句または数字を答えよ。なお、⑥については範囲を回答すること。

心理職の主要な業務に心理的アセスメントがある。心理検査は心理的アセスメントの中心である。ロールシャッハ・テスト（以下、ロ・テスト）は代表的な投影法である。

ロ・テストは①枚の図版を使用し、被検査者がその図版に描かれている模様をどのように体験するか等について評価する検査である。ロ・テストの実施は②段階、③段階、④段階（実施順）に分かれる。スコアリングのうち、“被検査者が図版をどのように体験したか”は⑤で評価される。

知能検査も代表的な心理検査である。WAIS-IVは代表的な知能検査である。WAIS-IVの対象年齢は⑥歳である。WAIS-IVの主要指標の一つである言語理解指標はCHCモデルの⑦と強く関連する。また、言語理解指標は⑧、⑨、⑩の下位検査で構成される。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち3枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題3】(①)～(⑤)の中に入る適切な語句を答えよ。

- 0歳～92歳までを対象範囲とし、クライアントの適応行動（日常生活における能力）を評価することを目的とし、対象者の様子をよく知っている回答者（保護者や介護者など）に対して実施するアセスメントを(①)と呼ぶ。
- アセスメントの手法として、あらかじめ決められた質問項目について、クライアントとコミュニケーションをとり、会話をしながら適宜査定していく方法を(②)と呼ぶ。
- 災害発生直後などの初期の対応として、環境の整備、被災者の心身の安全確保など、応急処置的な支援を(③)と呼ぶ。
- ICD-11より採用された診断で、慢性的な心的外傷により生じる精神疾患を(④)と呼ぶ。
- 縦断データの分析において、初期の調査の時点で測定した2つ変数の値が、次の時点での測定までの過程でお互いに与える影響を検討する統計モデルを(⑤)と呼ぶ。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち4枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☒ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題4】 次の Adverse childhood experiences (ACEs) とメンタルヘルス不調の関連に関する3つの論文の Abstract を読み、以下の3つの問に答えなさい。

[A]

出典：Schwartz A, Navarro MC, Salamon R. A 10-year Longitudinal Study: The Relationship between Adverse Childhood Experiences, Mental Health Indicators, and Binge Eating Symptoms among Emerging Adults. Child Psychiatry Hum Dev. 2024 Nov 29. doi: 10.1007/s10578-024-01788-x.

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち5枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

[B]

出典 : Cheong EV, Sinnott C, Dahly D, et al. Adverse childhood experiences (ACEs) and later-life depression: perceived social support as a potential protective factor. BMJ Open 2017; 7:e013228. doi:10.1136/bmjopen-2016-013228

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち6枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

[C]

出典：Porter C, Palmier-Claus J, Branitsky A, Mansell W, Warwick H, Varese F. Childhood adversity and borderline personality disorder: a meta-analysis. *Acta Psychiatr Scand*. 2020 Jan;141(1):6-20. doi: 10.1111/acps.13118.

問1 [A]の論文の研究法を概説せよ。

問2 borderline personality disorder (BPD)とはどのような精神疾患であるかを答えなさい。なお、英文中には記されていない。

問3 3つの abstract をまとめて要約したうえで、読み取れる研究的示唆および臨床的支援に関する示唆を論じなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち7枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題5】以下の事例問題に答えなさい。私設の心理相談センターに、ある母親から相談の申込みがあった。以下は、相談申し込み（電話）時の主訴である。

16歳の娘Aさんは現在、通信制の高校に在籍している。登校日は月に数日程度であるが、不登校が散見される。登校時に電車に乗る前に、気分が悪くなってしまう。時には吐き気が強くなってしまう。高校での友人はいなくはないようだが、積極的に遊ぶ仲ではない様子である。登校すれば、帰宅時にショッピングやカフェに一緒に行く友人はいる。

不登校傾向は中学2年生の頃から認められるようになった。自宅でAとよく話す機会があるが、Aとも不登校の理由は“よく分からない”が共通認識となっている。現在、Aは自宅に引き籠っている訳ではなく、週の半分以上は電車で30分ほどの繁華街にある居酒屋でアルバイトをしている。アルバイトは楽しいと言っている。

まず、母親一人でセンターに来所し、インテーク面接を受けることになった。

問1 心理臨床におけるインテーク面接の意義およびインテーク面接での心理職者が取るべき態度を説明したうえで、本事例のインテークで心理職が聴き取るべき情報を整理しなさい。

問2 インテーク後、AさんにWISC-Vを実施することになった。以下が、結果の概要である。WISC-Vの結果から把握されるAさんの認知的特徴を論じよ。

● 個人間差

FSIQ = 84[80-90]、言語理解指標(VCI) = 85[79-94]、視空間指標(VSI) = 97[90-105]、流動性推理指標(FRI) = 100[94-106]、ワーキングメモリー指標(WMI) = 85[80-93]、処理速度指標(PSI) = 75[71-87]、一般知的能力(GAI) = 89[84-95]、認知熟達度(CPI) = 77[72-85] ※[]は90%信頼区間を示す。

● 個人内差

FRI > MIS (5%水準、標準出現率 10-15%)、PSI < MIS (5%水準、標準出現率 10-15%)
VCI < FRI (5%水準、標準出現率 17.8%)、FRI > WMI (1%水準、標準出現率 19.4%)、
FRI > PSI (1%水準、標準出現率 8.1%)、GAI > FSIQ (1%水準、標準出現率 16.0%)、
GAI > CPI (1%水準、標準出現率 20.7%)

● 検査時の様子・態度－見本がある課題は“間違えないように”する姿勢が強く、慎重に実施していた。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち8枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☒ 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問3 検査後、Aさんは検査者（心理職者）に「医学部に入りたいから、一人で勉強している」、「不登校の原因は女子友達とのトラブルが原因」、「母親は私のことが分かっていないし、私のことを理解して欲しくない」と語った。

本事例において、本検査結果に関して、心理職者は誰に、どのように、そして何をフィードバックすべきであるか。あなたが本事例の心理職者になったと考えて、論じなさい。

2025年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(9枚のうち9枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	☐ 一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題6】以下の3つの用語について、それぞれ説明しなさい。

問1 決定係数

問2 再検査信頼性

問3 カウンターバランス

2025 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般

科目名 公認心理師養成

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 解答例

過去の虐待経験が子どもの目撃記憶に及ぼす影響に関する研究は、まだその取り組みが始まったばかりであるが、虐待の被害歴が記憶の発達に代替経路と関連している可能性は十分に考えられる。例えば、乳幼児期や青年期に極度のネガティブな経験をするにより、基本的な記憶プロセスが変化したり、あるいは記憶の内容に影響を及ぼす可能性がある。虐待の経験は、非定型的な社会性および情動の発達、神経学的発達と関連しており、これらは記憶のパフォーマンスと潜在的な関連があると言える。こうした代替的な発達上の結果は、トラウマの既往歴を持つ子どもや青少年の情報処理する方略の違いに関わる可能性が示唆されている。過去の虐待が基本的な記憶プロセスを変えるのか、あるいは虐待やネグレクトの経験を持つ人々が、虐待経験のない人々と同様に記憶に注意を向けたり、記憶を符号化したり、記憶を保存したり、記憶を想起したりするのかどうかについては、まだ研究によって十分に明らかにされていない。

問題 2 解答例

①10, ②自由反応, ③質問, ④限界吟味, ⑤反応決定因, ⑥16-90, ⑦結晶性知能, ⑧単語, ⑨類似, ⑩知識

問題 3 解答例

①ヴァインランド適応行動尺度, ②半構造化面接, ③サイコロジカルファーストエイド, ④複雑性 PTSD, ⑤交差遅延モデル

問題 4 出題意図

研究計画の策定、論文執筆の際には、国内外の論文を広く読む必要がある。とりわけ、臨床心理学領域の研究では国内知見は拙いため、インパクトのある研究の実施および論文の執筆を行うためには、国外の論文を読むスキルは必要不可欠である。本問題の意図はそのスキルを図ることにある。

問題 5 出題意図

ウェクスラー式知能検査は国内で最も利用されている知能検査であるため、公認心理師を志す学生が熟知すべき検査の一つである。大学院の教育カリキュラムでも学習するが、その基礎的知識水準を確認するために出題した。加えて、インテーク面接および検査結果のフィードバックも、就労する領域を問わず公認心理師には必要な業務であり、基本的な知識レベルを把握するために、出題した。

問題 6 出題意図

本学の公認心理師養成プログラムでは、「科学者—実践者モデル」を基本とし、臨床心理学的な問題について研究を行い、そのエビデンスに基づき実践ができる公認心理師の養成を目標としている。そのため、本問題は、研究法に関する知識を問う問題である。